

NP021 世紀水倶楽部資源活用型下水道部会（SKG 部会）直接投入型ディスポーザ研究集会

### 『これからの地域社会を支える直接投入型ディスポーザへの期待』

●主催：NP021 世紀水倶楽部、 後援：中間市、協力：GKP チーム九州、  
技術協力：株式会社三水コンサルタント

#### ●開催の主旨

北海道歌登町(当時)での社会実験を踏まえて、平成 17 年 7 月、国が「ディスポーザ導入時の影響判定の考え方」を公表したことを受け、ディスポーザ(以下 DSP と略す)排水を下水道へ直接排水する「直接投入型(以下直投型と略す)DSP」を認めている公共団体は令和 6 年 7 月現在 27 団体となっている。

一方、DSP 使用による下水道への影響を小さくする目的で前処理してから下水道へ流入させる処理装置付き DSP を認めている公共団体が圧倒的に多いのが実態である。

20 年前の社会実験以降、各地の導入事例を通じた直投型 DSP の下水道への影響等について各種の調査が継続的に行われ、より詳細な情報が得られてきた。

また、日本下水道協会はこれまで処理装置付き DSP の規格(K-18)を定めていたが、こうした調査結果や社会情勢等を踏まえ、令和 6 年 3 月に直投型 DSP に関する規格(K-20)を定めた。

直投型 DSP の導入は、「脱炭素」「肥料利用」等の下水道事業への要請に応えるとともに、高齢化社会、循環型社会等への対応を求められている地域社会全体を支えていくための有効な手段となることが期待されている。

九州地方において中間市、大村市で直投型 DSP 導入が緒に就いたことを機に、九州地方でセミナーを開催し、直投型 DSP の下水道への影響に関する最新の情報を共有したうえで、社会的な意義に関する広範な視点から議論を行い、今後の直投型 DSP 導入検討に資することとする。

●開催日時： 令和 6 年 11 月 18 日(月)、13 時半～17 時（開場 13 時）

●開催場所： なかまハーモニーホール 小ホール(100 名程度)及びオンラインのハイブリッド

#### ●セミナーの内容

挨拶：当倶楽部理事長 栗原秀人、中間市長 福田健次

##### 1 基調講演

「直接投入型ディスポーザについて」

日本大学生産工学部教授 森田弘昭氏

少子高齢化社会を迎える我が国では、全ての行政サービスの在り方が見直され始めている。下水道分野でも広域化、共同化、経営などのキーワードのもと整備から持続的な運営に舵が切られている。生ごみ処理を下水道で担う直投型ディスポーザ導入は、事業横断的な循環型社会の実践モデルとなり得る。DSP 導入の社会実験が実施され 20 年、最新の全国 DSP 普及状況を紹介するとともに、講演者らが実施している DSP 導入地域の長期実態調査で得られた実測値に基づく DSP 導入後の下水道、地域環境への影響評価について解説する。

##### 2 講演

① 「中間市における直接投入型ディスポーザ社会実験に係る評価」

中間市下水道課 課長補佐 菅幸司氏

令和 3 年 10 月から令和 4 年 9 月まで実施した直接投入型ディスポーザ社会実験での利用者の感想やごみ出し作業の軽減、悪臭改善など、数字では表せない部分と数値化した家事時間やゴミの重量から行

政コストへの影響について評価したことを報告する。

② 「住宅用 DSP 導入時の環境への影響と生活者受入れ度評価」

福岡女子大学国際文理学部教授 豊貞佳奈子氏

住宅用 DSP 導入時に、生ごみが廃棄物処理工程から下水処理工程に移ることで変化する CO2 排出量を住宅規模別に試算し、導入時の環境影響を評価した。また、生活者視点での DSP の利便性、有用性に関するアンケート調査の結果を紹介する。

③ 「社会の豊かさに貢献するインフラ」

九州大学都市研究センター長・教授 馬奈木俊介氏

心身が満たされた状態を意味する「ウェルビーイング」が重視されるようになり、国内総生産（GDP）を補完する指標が求められている。政府内でもウェルビーイングを目標に掲げる政策があり、新しい指標を望む声がある。国や自治体のみでなく企業が事業活動に採り入れようと進めている新国富指標とその応用例を紹介する。

（休憩） 会場前エントランスで DSP 実機デモ実施（開演前・閉会後も実施）

3 総合討論(パネルディスカッション) (質疑応答含む)

パネリスト：福田市長、森田教授、豊貞教授、馬奈木教授

コーディネータ：栗原

○各種調査からみる直投型 DSP の下水道に対する影響と評価

○今日的な諸観点からの直投型 DSP の社会的意義

○導入促進に向けた取り組み（広報、費用負担と責務等）

4 意見交換会 17時半から 同ホール展示室にて。会費 3 千円（先着：30名）

●参加費：

○国・地方公共団体・教育関係者・中間市関係者・GKP チーム九州・当倶楽部会員は無料

○それ以外の方 会場参加者：1000 円（資料代）

オンライン参加者：無料（資料は提供されません）

●参加申込み：2024 年 11 月 5 日（火）までに、研究集会参加登録 [www.21water.jp/sympo2-form.htm](http://www.21water.jp/sympo2-form.htm) からお願いいたします。（但し、定員に達した時点で締切ります。）

●募集人数：会場 100 名 オンライン 90 名 参加者には、後日、招待メールを送付しますので、**必ずメールアドレスをご記入**下さい。

●問い合わせ E-mail：mailto:[sympo-info@21water.jp](mailto:sympo-info@21water.jp)